

大分県

氏名 廣田 哲也 (ひろた てつや)

(満44歳 昭和49年9月3日生)

1 推薦の理由

被推薦者は、大分県小学校体育研究会（県小体研）に平成16年度から所属し、県内の体育授業の発展に貢献してきた。平成27年度から2年間は県小体研の研究部長になり、「運動の楽しさや喜びを味わわせ、自ら学ぶ体育学習 ～意欲的に動きを高めるための指導と評価の一体化について～」のテーマのもと、県内の体育授業の研究推進に努めた。平成29年度からは、県小体研事務局長になり、研究推進に加え、体育の授業研究会等の円滑な運営が行われるように尽力している。なお、平成28年度より、所属校（大分市立大在小学校：平成27年度最優秀校）にて、研究主任を務め、自らの学級での授業実践の発表、校内の体育授業研究の充実、後進への指導にも積極的に取り組んでいる。以上の理由から、推薦する。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

(1) 被推薦者の授業の特徴

「運動が苦手な子どもにその運動が備えている運動の特性を味わわせるように指導方法を工夫していること」「主となる運動の『技能レベル』（より具体的な評価規準）を作成し、教師と子どもが共通理解し、自己評価、相互評価、教師による評価をしやすくしており、指導と評価の一体化が図れるようにしていること」が挙げられる。

(2) 指導効果、その成果の汎用性

「第6学年『くの字』の姿勢に気をつけて頭はね跳びをしよう」の実践から紹介する。

最初の示範の動きとエラーの動きとを見比べさせて、頭はね跳びでは、「くの字」の姿勢が大切であることに気づかせていた。そして、「くの字」の姿勢をつくり、腰角の開きを活かしながら頭はね跳びができるように、様々な場を設けたり、ペアやチームで支え合ったりできるように仕組んだ。

中でも、腰を開く動きが上手くできない子どもには、段違いの跳び箱の場を設け、友達同士で補助させ合い取り組ませたことで、「跳ねて跳ぶ感覚」を十分に味わわせることができた。回転系の運動に苦手意識をもつ子どもも安心してできる各場で子どもが意欲的に力を高め合った結果、全員、自分に合った跳び箱で頭はね跳びができた。

また、学習カードに記載した「技能レベル」と現状を比べさせたことは、子どもが自分の技能面

の到達度を客観的に把握できただけでなく、課題の発見にもつながった。

さらに現状や課題に応じた練習方法が記されたカードや掲示物を予め用意し適時示したことが、子どもの主体的な課題解決を促した。

教師が「身につけさせたい力」を設定し技能を焦点化した上で、子どもたちに課題解決をさせた本実践の成果は、県小体研で他領域においても広く共有され、次年度からの本県体育研究の発展に大きく寄与した。

(3) 成果を証明する資料

- ・第53回九州地区学校体育研究発表大会大分大会「第6学年 器械運動（跳び箱運動）」指導案・動画

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成21年度 大分市小学校教育研究会
体育部会 授業発表者
第1学年 ゲーム
(ボール蹴りシュートゲーム！)

平成26年度 第53回九州地区学校体育研究発表大会大分大会 授業発表者
第6学年 器械運動
(くの字の姿勢に気をつけて頭はね跳びをしよう)

平成27年度 県小体研夏季中央研修会並びに研究協力校日田大会にて、「運動の楽しさや喜びを味わわせ、自ら学ぶ体育学習 ～意欲的に動きを高めるための指導と評価の一体化について～」のテーマのもと、第6学年 器械運動（跳び箱運動）の実践を基に、実践報告、基調提案を行う。

4 勤続年数 18年

5 職歴

平成13年 蒲江町立蒲江小学校 教諭

平成16年 大分大学教育福祉科学部

附属小学校 教諭

平成19年 大分市立明治北小学校 教諭

平成25年 大分市立大在小学校 教諭